



國字解實語教

仁  
2283



國字解  
實錄教

仁  
2283



智是善代財たぐひの命終即陞あがり也

智の善代財とは若く残り又令後争くとも善切く富し書物があるより志すれハ善く又より外ハ富ますの事ハ善く志すなむ

玉不應無光との善く光為石瓦と

礼記の字記は玉不應無光といふ人となして磨して光りたる玉の如く玉も磨かば光り出の事かたしと志すべしと志すべしと志すべしと志すべし

人不学以智との善く智為愚人と

人をしてとるよりとるよりぬき学又すれば智と志すべしと志すべしと志すべしと志すべしと志すべしと志すべしと志すべしと志すべし

たぐひ一砂てさへかゝる能はるる麻衣なりとて上は高し下は下なりとたす人となりてさうりつらむと希望して有まらん心無き如ししてけりまついて自棄てもとち毎一用心するがごとく

倉内の黙有朽くつろみの身内の亦も有朽くつろみ

雖千一の支金積つぎの不知しらず一日の学まなぶ

金積が定むれば山もさへもちりすの事ハ西のよきいけりつる也○可なり合今成惟積業又し積ハ学又積ハ海もあかりぞもちり

兄弟の考かんがへ不合あはれの忌諱いひ為兄弟の

兄弟は悲心身より可なり論治はし先進の善君子敬而学之人と志すべしと志すべしと志すべしと志すべしと志すべしと志すべしと志すべしと志すべし





たつたふり又可進了りし要なり ○親族 記載し了り之章ハ多ク  
おしきすり作のなりけりあり又必云々云々云々の意也

父母孝順久 師君仕給也

交友勿諍事 父母師君公普在任や入りて孝り  
交友勿諍事 交友勿諍事 交友勿諍事

己見為礼敬 己身改定願

人而才智若 不愛於木石

先賢の言をわづらひて 己身を改定願ふ 己身を改定願ふ 己身を改定願ふ

いんや人よとてとや不智ぬ人ぬ事なまのりよよまあるハ原あしとよまてと人  
上は志やならん人と成り過くしなりとす人しありの志や志す此自形不足なり可笑

人而才智若 不愛於木石

不交之学友 何遊七覺林

木石といふはくわんは有る色に解高きよし孝ぬ人の有る孝し人といふて言ひ

とわらひたりやいといふ言ひやかたの若きものハ馬の友の哺の孝と云て親をよま馬が

忌とてて忌心可必天なりけり又羊ハ乳どのむむままつて乳どのむと有人ハ之

交し食すりすとすよあふて親の弟よもてわたり人ハ孝及哺はつて志はれと云

云ん極の高生なりけりといふ言ひなり ○三言と 戒学は定学の志なり







又と云ふは二種の及利の事なり。其の一事は、易の君子安而不定危。○易は君子安而不定危。○存して  
不安定は活而不定也。○是は易安くして不安定可保。前久仁学より云々。

又易学註忘の書案に傳説云

又冠習易忘 聲衰し字才

それと云ふは、易の君子安くして不安定可保。○是は易安くして不安定可保。前久仁学より云々。

他有命は法 亦有此命

猶不忘農業 必莫廢学文

命物と人命はたすけ命の二つあり。○是は易安くして不安定可保。前久仁学より云々。

在末代学は先可案世書

是学又之始、終身之志矣  
其始者終

是學又之始、終身之志矣  
可解其始者終  
事也





